

東京プライム・シンフォニーオーケストラ

第32回定期演奏会

北欧の美しき弦楽の調べ



【出演】ソプラノ／新井晶子

東京プライム・シンフォニー・オーケストラ

Vn [ヴァイオリン] 浜野考史 (コンサートマスター)、福井啓太、桑田穰、松村一郎

Va [ヴァイオラ] 坂口昂平、徳高真奈美 Vc [チェロ] 寺井創、加藤菜生 Cb [コントラバス] 星直孝

2024年11月17日(日)17:00開演(16:30開場)

高崎シティギャラリー・コアホール

Sun 17th November 2025, 17:00 Start (16:30 Open) At Takasaki City Gallery



主催：株式会社 空間あい 共催：(一社)東京プライム・シンフォニーオーケストラ

協賛：株式会社 藤田ビジネスプロモーター、株式会社 ワンライフ、ファームドウ株式会社

後援：群馬県、高崎市、上毛新聞社、群馬テレビ、FM GUNMA、ラジオ高崎、群馬オペラ協会、群馬楽友協会



新井晶子
(ソプラノ)

PROGRAM

スヴェンセン：ロマンス 作品26 Johan Svendsen : Romance, op.26
シベリウス：悲しきワルツ 作品44-1 Jean Sibelius : Valse triste, op.44-1
ニールセン：小組曲 作品1 Carl Nielsen : Suite, op.1

——— 休憩 (15分) ———

グリーグ：2つの悲しき旋律より Edvard Grieg : from Two elegiac Melodies, op.34-1 & op.33
「胸の痛手」 作品34-1 《The wounded Heart》
「過ぎにし春」 作品33 《Last spring》
グリーグ：ホルベルク組曲 作品40 Edvard Grieg : The Holberg Suite, op.40

PROGRAM NOTE ノーベル賞が生まれた北欧の音楽

北欧といえば、オーロラが見えるくらい寒い地域、とても遠く、なかなか緑のない場所、森や湖が美しい、建築、オシャレでかわいらしい家具やインテリアなどの印象を持っていることだろう。よく知られたIKEAやマリメッコ、フライングタイガーなどの雑貨店はみな北欧のブランドである。そしてムーミンは、フィンランドからやってきたキャラクターであり、実は日本人にとって、とても身近な国である。

北欧諸国とは、フィンランド、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン等を指す。各国は歴史・文化・社会の面で多くの共通点をもっている。

北欧の文化圏は、伝統、宗教、国家への忠誠よりも個人の自由や世俗主義など、合理的社会秩序である。この文化規範により、平等性を重視する共通の文化や価値観を持っていることがわかる。

北欧諸国は、北ゲルマン系民族がほとんどであり、宗教は、キリスト教プロテスタント系のルーテル教会の割合が非常に高い。国旗は「スカンジナビア十字」と呼ばれる左寄りの十字を使っている国が多い。

ダイナマイトの発明者と知られる科学者アルフレッド・ノーベルも北欧のスウェーデン生まれ。彼はスウェーデンとノルウェーが一つの国で、スカンジナビアと呼ばれていた時代に育った。彼の遺言で1895年にスウェーデンで創設されたノーベル賞だが、平和賞のみノルウェーで選考、授与式が行われる。それはノーベルが遺言を書いた当時、両国に敬意を払い、ノルウェーも選考に加えるべきと考えて、「受賞者は、スカンジナビア人である必要ない」と記していたからである。それは、スウェーデンとノルウェー両国の紛争からの和解を祈念している。今回オスロで、ノーベル平和賞に日本被団協への授与が発表され、この上のない喜びである。ストックホルムでは、人工知能を開発したことによる発明が初めて授与された。しかしながら人が奏でる音楽は、人工知能が乗り越えられることはない。

今回の演奏会は「北欧の美しき弦楽の調べ」がテーマ。厳選された北欧の作曲家たちの、聴く人を魅了する寒さを忘れてしまうようなあたたかい作品や、厳しい寒さを知っているからこそ生まれる珠玉の作品をご紹介します。そして聴いたことのある曲がじつは北欧の作曲家の作品だったということがある。各弦楽器の響きが調和し、心に優しく触れるような豊かな音色が会場に満ち、心を揺さぶられる感動的な時間になると確信している。



スヴェンセン／ロマンス 作品26

Johan Svendsen : Romance, op.26

(約9分)



ヨハン・セヴェリン・スヴェンセン (Johan Severin Svendsen, 1840年9月30日—1911年6月14日) は、ノルウェーの作曲家、指揮者、ヴァイオリニスト。スウェーデン統治下のノルウェーのクリスチャニア (現オスロ) に生まれ、生涯のほとんどをデンマークのコペンハーゲンに過ごし70歳で同地にて他界した。親友にしてより高名な作曲家のグリーグとは対照的に、スヴェンセンは響きの美しさというよりは、管弦楽法の技巧によって名を揚げた。グリーグが小編成のために作曲したのに対して、スヴェンセンはもっぱら大編成の、とりわけオーケストラの作曲家であった。最も有名な作品は、この「ヴァイオリンと管弦楽のためのロマンス」である。存命中は、作曲家や指揮者として非常に人気があり、国から数々の栄誉を授けられた。しかしながらこの人気は長続きしなかった。

シベリウス／悲しきワルツ 作品.44-1

Jean Sibelius : Valse triste, op.44-1

(約5分)



ジャン・シベリウス (Jean Sibelius 1865年12月8日- 1957年9月20日) は、後期ロマン派から近代にかけて活躍したフィンランドの作曲家、ヴァイオリニスト。戯曲『クオレマ』の劇付随音楽として書かれた曲の一部を作曲家自身で単独の作品に編曲されたもの。森や夢の中といった場を舞台に展開される物語はとても幻想的で、それを音楽で描写したシベリウスの音楽は、聴いているだけでも内容が鮮やかに浮かびあがる。この戯曲は悲劇であり、この「悲しきワルツ」はその雰囲気凝縮された、胸が締め付けられるような哀しさに満ちている。

ニールセン：小組曲 作品1

Carl Nielsen : Suite, op.1

(約16分)



カール・ニールセン (Carl August Nielsen 1865年6月9日-1931年10月3日) は、デンマークの作曲家。デンマークでは最も有名な作曲家であり、同国のみならず北欧を代表する作曲家として知られている。小組曲作品1は、カール・ニールセンがコペンハーゲンの音楽院を卒業した直後の1888年に作曲した弦楽合奏のための作品。弦楽合奏曲ではあるが、のちの交響曲の作曲へのステップが意識されており、また循環形式が用いられている。作風はロマン主義的で、スヴェンセンの影響が見て取れる。翌年から16年間にわたり、ヨハン・スヴェンセンが指揮者を務めるデンマーク王立管弦楽団でヴァイオリン奏者として活躍した。曲は、次の三楽章からなる。

1. 前奏曲 Andante con moto
2. 間奏曲 Andante moderato
3. 終曲 Andante con moto

————— 休憩 (15分) —————

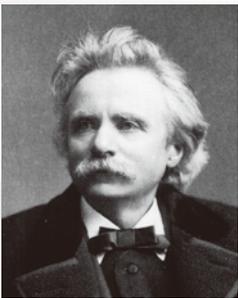
グリーグ/2つの悲しき旋律より 「胸の痛手」作品34-1 「過ぎにし春」作品33

Edvard Grieg : from Two elegiac Melodies, op.34-1 & op.33

《The wounded Heart》

《Last spring》

(約8分)



エドヴァルド・ハーゲルupp・グリーグ (Edvard Hagerup Grieg 1843年6月15日-1907年9月4日) は、ノルウェーの作曲家。ノルウェーの民族音楽から着想を得て、国民楽派の作曲家として注目された。民族音楽からの深い影響はよく知られた作品、『ペール・ギュント』第1組曲の第1曲「朝」の冒頭がノルウェーの民族楽器であるハリングフェーレの共鳴弦を端からつま弾いた時の旋律から始まっていることからもうかがい知ることができる。グリーグの肖像は、旧500クローネ紙幣に描かれていた。

『2つの悲しき旋律』作品34は、エドヴァルド・グリーグが1880年に作曲した、2曲からなる弦楽合奏曲である。ノルウェーの農民詩人オスムン・オラヴソン・ヴィニエ (1818年 - 1870年) の詩による歌曲集『12のメロディ』作品33から2曲を選んで作曲者自身で編曲したものである。この歌曲集の出版した同年、グリーグは生地ベルゲンのオーケストラ「ハルモニエン」(現ベルゲン・フィルハーモニー管弦楽団)の指揮者に就任したが、同楽団での演奏を考えると、このうちの2曲を弦楽合奏用に編曲した。第2曲「過ぎにし春」はソプラノの新井晶子を迎え、その美しい歌声でお届けする。本日は作曲者自身の弦楽伴奏版により演奏する。歌詞は、自分の人生が、もうすぐ終わる

のだと気づいた時、

人は、どのように目に見えるものか、「寒い冬が終わり、自然が移り変わり、喜ばしい季節がやってきたはずなのに、これが、最後に見る景色に、最後の春となるだろう・・・」

グリーグ：ホルベルク組曲 作品40

Edvard Grieg : The Holberg Suite, op.40

(約22分)

グリーグが作曲した弦楽合奏のための組曲。原曲は1884年に書かれたピアノ独奏曲であるが、今日ではグリーグ自身が1885年に編曲した弦楽合奏版の方が広く知られている。ドイツ語の省略された題名から『ホルベルク組曲』(Holberg Suite)とも呼ばれる。

グリーグは、同郷の「デンマーク文学の父」とも「北欧のモリエール」とも呼ばれるルズヴィ・ホルベア (1684年 - 1754年) を記念する祝祭のために無伴奏男声合唱のためのカンタータと、ピアノ独奏のための組曲『ホルベアの時代から』を作曲した。カンタータは同年12月3日(ホルベアの誕生日)に初演され、『ホルベアの時代から』は12月7日にグリーグ自身のピアノで初演された。翌1885年に『ホルベアの時代から』はグリーグ自身によって弦楽合奏のために編曲されたが、やがてこちらの方が有名になった。

副題に「古い様式による組曲」とあるように、この作品はホルベアが生きていた時代の音楽、すなわちバロック音楽の様式を借りて書かれている。グリーグ本人は「ホルベアの同時代人だった、フランスのクラヴサン奏者たちの組曲をモデルにさせてもらった」とコメントしている。

ピアノ版が軽いタッチの爽やかな印象を与えるのに対し、弦楽合奏版は弦五部をベースにしているが、グリーグの弦楽合奏曲にしばしば見られるように、各パートがさらに細分化されたりソロが現れたりするなど、非常に音響的に豊かな作品に仕上げられている。

第1曲：前奏曲 Allegro vivace

バロックのスタイルで、前奏曲がおかれ、リズムカルな印象を与える。

第2曲：サラバンド Andante espressivo

前奏曲とは、対照的に穏やかな舞曲で、中間部でチェロのソロがある。

第3曲：ガヴオットとミュゼット Allegretto-Poco piu mosso

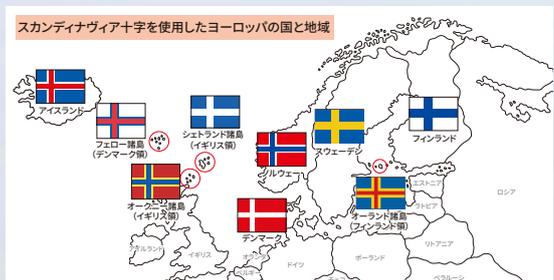
フランスの二つの舞曲のスタイルを組み合わせている。ミュゼット(バグパイプの一種)独特の音が表現されている。

第4曲：アリア Andante religioso

バロック時代の先人達を倣っているもの、時には熱っぽい曲調には、グリーグの個性が強く発揮されている。

第5曲：リゴドン Allegro con brio

全曲とは、対照的に、バロック的な明るい舞曲である。各パートのソロの重奏が、他のメンバーのピチカートの伴奏に乗って印象的である。





TPSOは、2007年 国内外で活躍するフリーランスの演奏家や在京オーケストラメンバーにより新たな演奏の可能性と芸術性を求めて創立されたオーケストラで今回で第32回の定期演奏会となる。創立以来、おもにアジア諸国との友好増進、文化芸術交流及び音楽芸術の発展をその目標として、韓国をはじめ、国内外多数のクラシックフェスティバルに招待されている。これまでに定期演奏会を含む100回以上の演奏会を行い活動している。

東京プライムシンフォニーのメンバーは、個々人がソリストとしての能力を持っており、これまで数多くの演奏活動を通じて高い技量と音楽性で好評価を受けてきた。2023年9月30日には、群馬音楽センターにて、「日韓特別ガラコンサート」と「第31回定期演奏会」開催して好評を博した。今回その続編として弦楽アンサンブルを通して、魅力を発信する。現在、ブザンソン、コンドラシンの二人指揮者コンクール第1位での優勝した曾我大介を首席指揮者に迎えている。

この度、株式会社空間あい創立10周年を記念して、本日の公演を実現するにあたり、匿名も含めてご協賛いただき、ありがとうございます。

- 株式会社 藤田ビジネスプロモーター 株式会社 ワンライフ ファームドゥ株式会社 株式会社 しみづ農園
 佐藤 良明 ミューズ音楽工房 小野 善平 金井 暢一 株式会社 井ノ上 高山 秀男 糸井商事 株式会社
 株式会社 エムワイ工業 株式会社 六角塗装店 松浦 幸雄 中澤 照雄 群馬楽友協会 羽鳥 義直
 株式会社 芹沢システムリサーチ 浜野 務 三国 晃 株式会社 原人社 豊田屋旅館 株式会社 アルトスター
 株式会社 有花園 株式会社 雪草楽器店 ラ・メゾン洋菓子店 株式会社 プリエッセ 一般社団法人 ぐんまオペラバレエ振興会
 株式会社 MSコーポレーション NPO法人日本少年少女オーケストラ協会 いんてりあ ムサシヤ
 TODOKORO 株式会社 清水 高崎白衣大観音 慈眼院

(敬称略・順不同)

株式会社 藤田ビジネスプロモーター
 前橋市問屋町 1-1-1 TEL 027-251-4455 (代)
 アバマン | 店舗 | 事務所 | 建物 | 土地 | 不動産活用

www.shimidzu.jp
 Green engineering
 SHIMIDZU 株式会社 しみづ農園
 Growth Garden | 工場 | 工場 | A2C professional aquatic plants layout

ピットハウス 前橋店
 ワンライフ
 前橋市表町2-23-12 ☎ 027-226-6555

若者に夢のある
 新しい農業のカタチ
 〒371-0855
 群馬県前橋市問屋町1-1-1 NF2 ビル6F
 TEL.027-219-3300

北欧流ヒュッゲな暮らしの専門店
 〒370-0075
 群馬県高崎市筑縄町 62-1
 10:00 - 18:00 (日曜定休)
 無料駐車場 2台あり
 オンラインショップ

楽器各種・修理・中古買取・輸入楽譜・個人レッスン
 なんでもお任せください!!
 YUKIGUSA
 雪草楽器
 高崎市江木町 172-7 ☎ 027-325-6860

しあわせあったね
有花園
 本店
 高崎市上和田町8
 TEL.027-322-4875
 アピタ高崎店
 高崎市矢中町 668-1
 TEL.027-347-0287

欧風菓子
La maison
 ラメゾン 高崎市田町24 TEL.027-326-2000